令和4年3月

❖ まちづくりの実現に向けた動きと取り組み

本基本構想で掲げた駅北の将来像の実現に向けて、すでに多くの取り組みを進めています。これからも、関係者の皼様と協力しながら、分野ごとに「できること」から始めていきます。

※本資料は今後の協議・検討により変更になる場合があります。

これから進めていくこと

	STEP1 できることからはじめる 駅北を知る～まちなかの交流～	STEP2 ハード改善の見える化 目に見える改善～まちなかの変化～	STEP3 将来像に近づける 空間の活用～まちなかの活性化～
「安全・安心」な場所づくり	整備計画の検討・関係機関との協議 →	クランク交差点の解消を踏まえた駅への交通環境の改善（まちなみ）	地域と町が連携した見守り体制の強化（区域全体）
	整備計画の検討・関係機関との協議 →	アクセス機能等の交通環境の改善・駅機能の改善（駅前）	
「楽しみ活力がみなぎる」場所づくり	地域の情報発信（駅前）		
	上里町の物産をアピールするイベントの開催（まちなか）		
	空地の暫定活用（交通機能や憩いの場等）（区域全体）		ウォーカブルゾーンの活用（まちなみ）
			駅前広場を活用したイベントの開催（駅前）
	整備計画の検討 →	公共的施設の整備、交流機能や医療機能、教育機関などの誘導（まちなか）	多世代が交流する憩いの場としての活用（まちなか）
「便利で住み続けたい」場所づくり	緑化・美化の推進（まちなみ、旧中山道、複合居住、水辺）		
	整備計画の検討 →	公園等の整備、広場の整備（駅前、まちなみ、複合居住）	
	空き家の利活用の推進（複合居住）		
		整備計画の検討・関係機関との協議 →	各種施設の誘導・維持（駅前、まちなみ、旧中山道）
		整備計画の検討 →	歩きたくなる環境整備・散策路等の整備（まちなみ、旧中山道、水辺）

将来像

～賑わいとゆとりを感じ 歩いて楽しむ“まちなか”～ひと・まち・駅をつなぐまちづくり～

今すでに動いていること

「安全・安心」な場所づくり

まちづくりの骨格形成	交通安全・防犯対策
・県道神保原停車場線の設計検討 ・駅舎の検討に向けた協議 ・県道神保原停車場線の交通量調査 ・駅前広場の設計検討 ・駅北東通り線の設計検討	・警察との連携強化 ・地域の見守りによる、県道神保原停車場線の安全確保

「楽しみ活力がみなぎる」場所づくり

まちを楽しむ	賑わいの創出
・歴史講座の開催 ・こむぎっちウォーキングコースの設定 ・「駅からハイキング」の実施	・商工会との連携強化 ・大型商業施設跡地取得に向けた協議 ・「ウォーカブル推進都市」の登録 ・「上里町起業者支援事業補助金」制度の実施

「便利で住み続けたい」場所づくり

定住促進
・立地適正化計画の策定（各種施設の誘導と維持に向けた体制の整備） ・「上里町空き家利活用推進事業補助金」制度の実施

共通

まちづくりの検討
・まちづくり協議会の開催 ・町民ワークショップの準備 ・まちづくりに関するアンケート調査